

記録：第 345 回海外邦人安全対策連絡協議会

4月12日、「第345回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。主な議題は、ラマダン期間中の安全確保、新型コロナ新規感染、ブースター接種状況など。

1. 冒頭

(大使館総括公使)

昨日当地で徐々に大規模なデモが発生した。散発的な現象であることと願いたい。大使館でも今後状況の推移に注意をしつつ新しい情報が入手できれば共有させていただく。

2. 治安ならびに邦人に関わる最近の事件・事故報告

(大使館警備班書記官)

今月初めからラマダンに入った。現在のところテロの発生はなく平穏に推移しているが、ラマダン期間中は宗教施設や治安機関に近づかないよう引き続き注意いただきたい。この時期は例年犯罪が増える時期であるが、現在のところ邦人被害の報告は受けていない。

昨日モナスや国会近くで大規模なデモが発生した。国会近くではデモ隊が一部暴徒化して警察と衝突し負傷者が出た。デモが予想される際には大使館で提供するデモ情報にもご注意をいただきたい。なお、ラマダン後の長期休暇の際には自宅の戸締りなど盗難被害にあわないようご留意願いたい。

3. 新型コロナウイルスをめぐる状況

(大使館医務官)

新型コロナの新規感染者はかなり減ってきた。とはいえ周囲にもごく最近感染する人が出ている。微熱やのどの痛みといった軽い症状が多い。おそらく市中にも感染者は潜在的に多いのではないかと考えられている。実際感染しているが病院での治療や検査を受けないため実態より少なめの感染者が報告されていると考えた方がよい。今後新しい変異株がインドネシアでも主流になると予想されている。ラマダン後の長期休暇が予定されており感染拡大の可能性が高い。軽症事例が多いからといって油断せず、持病を持つなど健康に不安のある方は特にご注意ください。

4. 各社・機関からの状況報告

(企業からの報告)

現在 100 名強の駐在員、80 名の家族が滞在している。ナショナルスタッフを含めて感染者は数名程度だが重症化したものはいない。渡航に関する制限が緩和され、日本やシンガポールから 5-10 名程度の短期出張者がいる。

(企業からの報告)

駐在員は 13 名、帯同家族は 6 名。先月以降感染者は発生していない。

(企業からの報告)

先週日本人 1 名が感染したが重篤化していない。日本やシンガポールからの出張者が増加している。翌月から委員を交代する。いままで海安協で貴重な情報を得られたことに感謝したい。

(企業からの報告)

駐在員は 10 名。ナショナルスタッフも含めて新規感染者は出ていない。ブースター接種については日本人は完了、ナショナルスタッフは 8 割程度まで進んでいる。

(企業からの報告)

前月から新規感染者はゼロ。ブースター接種については、日本人はすべて完了、ナショナルスタッフは数名を除いて完了している。

(企業からの報告)

日本人の感染者は出ていない。ブースター接種については、日本人は 1 名を除き完了、ナショナルスタッフは 3 分の 2 が完了した。3 月に 1 名駐在員の交代があった。

東部工業団地では、PPKM が 4 月 15 日まで延長され、カラワン・ブカシ地区は引き続きレベル 2 が適用されている。工業団地が主導して各社ともブースター接種が進んでいる。レバラン時の国内移動にはブースター接種が必要になるという情報があり、ナショナルスタッフの間で接種が進んでいる。

(企業からの報告)

この 1 か月間罹患者はいない。新規赴任者や出張者の入国も順調に推移している。ブースター接種も順調に進んでいる。

以下参考までに情報共有をしたい。日本大使館のウェブサイトにある領事情報の安全の手引きはわかりやすく整理されており、新規赴任者等に有用な内容となっている。またインドネシア国家防災庁の自然災害統計によると 2021 年の災害件数は 5400 件、前年比 16% 増。洪水が 1700 件、土砂崩れ 1300 件等である。

(企業からの報告)

3 月 22 日以降新規感染者はなく落ち着いている。3 月には赴任で 3 名が入国した。ブースター接種は、日本人駐在 9 名中 8 名が完了し、ナショナルスタッフも順次接種を進めている状況。

(企業からの報告)

感染者はナショナルスタッフを含めてゼロ。ブースター接種は、27 名の出向者はほ

ば終了。ナショナルスタッフは8割が終了している。3月に4家族が入国した。

(企業からの報告)

ローカルスタッフ3名が新規感染した。事務所は75%、建設現場は100%稼働。4月に新規赴任1名と帯同1家族が入国する予定。今後日本からの出張者が増えてくる見込み。ブースター接種については一部にとどまりあまり進んでいない。

(企業からの報告)

日本人、ナショナルスタッフとも感染者なし。入国制限の緩和が進み、渡航に関する問い合わせが増えた。国内、海外とも渡航が活発化している。

(企業からの報告)

感染者はほとんどいない。赴任者、出張者の入国も問題なく行われている。

(企業からの報告)

グループで9700名中、新規感染者はナショナルスタッフの10名とほぼ落ち着いてきた。日本人の感染者はいない。ブースター接種は3割程度が完了した。モデルナワクチンを2回接種している日本人がインドネシアでモデルナのブースター接種を受けられないか方策を探している。次回から委員交代の予定。海安協での情報は大変有用であった。感謝する。

(企業からの報告)

日本人5人で感染者はいない。ローカルスタッフ約700名も陽性者は10名程度と落ち着いている。出張者が5月以降増えてくる見通し。ブースター接種は希望者は完了済。

(企業からの報告)

駐在員は90名。ブースター接種は完了。日本人、ナショナルスタッフを含め新規感染者は確認されていない。近々帯同家族が10家族増えて合計20家族となる予定。

(企業からの報告)

先週数名に感染が確認されたがいずれも軽症で自宅療養中。ブースター接種は可能なものから随時接種を受けている。最近の赴任者3名は問題なく入国できた。

(企業からの報告)

3月下旬から4月上旬にかけて感染者が数名出たものの軽症にとどまり回復している。

(団体からの報告)

1月以来新規感染者はでていない。現在平常状態で運営している。

(JICA)

3月26日以降日本人、ナショナルスタッフとも感染者は発生していない。日本からの短期出張者の渡航が再開した。ブースター接種についてはこれからという状況。

(JETRO)

3月末に日本人および家族が感染したがすでに回復している。ブースター接種は順調に進んでいる。

(国際交流基金)

ここ1か月ほど感染事例はない。ブースター接種は個人ベースで実施している。半数程度が完了しているとみられる。

(ジャカルタ日本人学校)

21名の教員が3月に帰任し新たに12名の新任教員が着任。教員数は幼稚部含めて日本人54名。昨日入園式、本日始業式、明日小中学部の入学式。新年度開始に当たり、128名のPCR検査を実施したところ、無症状ながら3名の感染が判明した。

(注：通信不良で発言できず後日報告あり)

5. 質疑応答

(企業からの質問)

国内移動の際ワクチン接種証明の提示が求められるとのことだが、日本からの短期出張者の場合は日本で発行された証明書を携行すれば大丈夫か？

(大使館領事部長)

在留邦人が日本で接種を受けた場合は大使館の認証を添えて「Peduli Lindungi」へ登録することが可能となっているが、日本からの短期出張者には同様の適用はない。そのため、日本で発行されたワクチン接種証明書に加えて、接種状況のインドネシア語説明書を会社の方で用意され、出張者に携行させていただきたい。また併せて、利用される交通機関（航空会社、鉄道会社等）に事前に確認・相談されることもお勧めしたい。なお、自動車による国内移動については、最近は検問が設けられているという状況はないと思われるが、レバラン休暇期間での検問が行われることもあるのでワクチン接種証明の書類携行に留意願いたい。

次回海安協は2022年5月10日（火）に開催予定。